

Mマガジン・サポーター (店舗情報の詳細は「音楽好きな友の会」公式サイトにてご確認ください)

- 公共機関
 - 区役所 中原区役所5F なかはらっば 中原区小杉町3-245 Tel.044-744-3113
 - 会館 川崎市国際交流センター 中原区木月祇園町2-2 Tel.044-435-7000
 - 会館 川崎市生涯学習プラザ 中原区今井南町28-41 Tel.044-733-5560
 - 会館 かわさき市民活動センター 中原区新丸子東3-1100-12 Tel.044-430-5566
 - 郵便局 川崎井田郵便局 中原区井田中ノ町25-1 Tel.044-766-9724
 - 川崎プレーメン通郵便局 中原区木月1-31-5 Tel.044-455-1800
 - 川崎木月郵便局 中原区木月住吉町11-12 Tel.044-411-9800
 - 川崎木月大町郵便局 中原区木月大町11-17 Tel.044-722-3617

●元住吉西口(プレーメン通り/井田中ノ町商店街通り)

- 果物 フルッコ 中原区木月1-35-1 Tel.044-433-3338
- 介護センター みずたま介護ステーション元住吉 中原区木月1-35-7元住吉Gビル2F Tel.044-430-6963
- カフェ 水谷珈琲 中原区木月1-32-16 1F Tel.044-577-4288
- 花屋 Bianca 中原区木月1-26-19 Tel.044-422-7015
- 鉄板焼 ゆうき亭 中原区木月1-28-16 Tel.044-434-6999
- ヘアサロン キャメル ヘアーデザイン 中原区木月1-32-10中嶋ビル1F Tel.044-872-7375
- パン リップル 中原区木月3-10-20 Tel.044-863-6554
- カイロ、整体 ABCカイロプラクティク 中原区木月3-20-16 柳沢ビル 1F Tel.044-434-4342
- コーヒー専門 MUI (旧 もとえ珈琲) 中原区木月3-13-2 Tel.044-767-1368
- カフェ フォレストコーヒー 中原区井田中ノ町33-1 Tel.044-754-1156
- 接骨院 井田名倉堂・栗山接骨院 中原区井田中ノ町6-27 Tel.044-766-0850
- コミュニティカフェ イダカフェ 中原区井田中ノ町33-9 Tel.044-799-7127
- 時計・貴金属 つだとけいてん 中原区井田中ノ町33-2 Tel.044-766-6022
- 広告制作 アルケファクトリー 中原区井田中ノ町33-7 Tel.044-797-2430
- ヘアサロン 波照間 中原区井田中ノ町8-1 Tel.044-797-5692
- 理容室 Hair Salon Airs 中原区井田中ノ町8-2 Tel.044-755-0273

●元住吉東口(オズ商店街通り)

- 介護センター ツクイ川崎中原 中原区木月2-8-5 Tel.044-431-0027
- 調剤薬局 綱島街道薬局 中原区木月2-16-10 Tel.044-750-0374
- 飲み喰い処 粋い仙ん 中原区木月2-20-47 Tel.044-411-8980
- 古本・CD 凸つと凹つと 中原区木月2-10-3
- STEAK ステーキグラム元住吉店 中原区木月住吉町7-7 Tel.044-433-4129
- お茶 金子園 中原区木月2-2-36 Tel.044-411-5877
- ステーション ENEOSダイヤ商事 中原区木月住吉町21-1 Tel.044-411-5863
- サンドウィッチ ベトナムウィッチThao's 中原区木月2-1-1 Tel.044-982-3299
- 鍼灸院 和式整体&整心の『響氣』 中原区木月2-3-35 住吉名店センター401 Tel.044-433-2880

●元住吉近郊

- 喫茶室 シンフォニー 川崎市幸区矢上11-1 Tel.044-588-9688

●武蔵小杉近郊

- 喫茶店 Coffee Spot Life (ライブ) 中原区上小田中6-22-13 Tel.044-722-0024
- カフェ COSUGI CAFE 中原区小杉町1-403-53 COSUGI VILLAGE1F Tel.044-543-9151
- 紅茶専門店 Tea House ローズマリー 中原区小杉町70-4 Tel.044-733-1076
- カフェ フォレストコーヒー 小杉サライ通り店 中原区今井南町428-9 Tel.044-819-8822

●東横線沿線

- 調剤薬局 オレンジ薬局川和町店 横浜市都筑区川和町1218-1F Tel.045-929-1005
- 調剤薬局 駒沢通り薬局 東京都目黒区中央町2-40-8 Tel.03-6412-7318
- 写真 PHOTO SHOP 銀嶺 東京都港区六本木7-8-4 Tel.03-3408-5406
- カフェレストラン カンファーマ・ツリ 横浜市中区海岸通1-1横浜貿易協会ビル Tel.045-211-2200

※上記サポーター記事は無料です。

M MAGAZINE 発行人 塚田親一 発行 音楽好きな友の会 〒2110034 川崎市中区井田中ノ町33-7 (株)アルファテック TEL 0447972430 2017.9.20.700 Printing

M MAGAZINE

●Motosumiyoshi ●Music ●Mate ●Meet ●Memories

元住吉の気軽な音楽会

2017
10月号

後援:
「音楽のまち・かわさき」推進協議会
公益財団法人 川崎市国際交流協会
人形劇団ひとみ座 /rk-factory



10月1日(日) 13:30~
10月15日(日) 13:30~
音友レコード倶楽部
場所イダカフェ

10月14日(土) 11:00~
13:00~
0歳からの
ふれあいコンサート
場所イダカフェ

10月14日(土) 14:00~
魅惑の音楽紀行
場所国際交流センター

10月17日(火) 12:10~
ランチタイム
ロビーコンサート
場所川崎市生涯学習プラザ

10月23日(月) 13:50~
ママのおひざで聴く
ヴァイオリンコンサート
場所イダカフェ

【表紙写真】キース・ジャレット。
アメリカ合衆国のジャズ・クラシックピアニスト、作曲家。
ジャズ・ピアニストとして広く認識されているが、
クラシック等、ジャンルを超えた音楽表現を身上とする。
演奏楽器もピアノにとどまらず、ソプラノ・サクソ、
パーカッション、ハーブシコード、リコーダーなど多岐にわたる。
(ウィキペディアより)



ヴァイオリニストの田島華乃です。 連載 22 楽器経験者のママたち

あるかな?と思いきやコンサートへ足を運んで下さるようです。

親子コンサートを開催していると「昔ヴァイオリン弾いていたんですけど、辞めちゃって、」など、楽器経験者ママにお会いする機会が沢山あります。きっと、ママ自身が音楽がお好きなのでしょう。

辞めてしまった理由やタイミングは、人それぞれですが皆さまが口を揃えておっしゃるのは「やっぱり何か楽器が弾けると、楽しいですよ。なので、もし本人に興味があれば楽器を弾く環境を作ってあげたいのです。」という事です。

ママたちは、もう忘れてしまっただけで全然弾けないと思うと仰います

が、いやいや触ってみて少し練習をしてみたらきっとすぐに当時の感覚を思い出します。

楽器の練習、楽器が弾ける(弾けた)とはそういう事で、積み重ねていたモノは全部は無くならないです。確かに、パッとすぐには弾けないかもしれませんが、お子さんと一緒に弾いていたら、いつの間にかすんなり思い出した、なんて事があると思いますよ。

今回は、逆に楽器はさわった事がないです!というママとお子さんのレッスンを始める時のコツを記事にしたいと思います。



ママのおひざで聴くヴァイオリンコンサート 10月23日(月)「イダカフェ」

開場: 13:30 / コンサート: 13:50~14:30

コンサート前後は、ちびバイオリン体験コーナーです。

コンサート終了後の15:00~、15:30~イダカフェで個人レッスンをします♪【限定2名】
★一人1台レンタル楽器をご用意します
★お子さん、ママどちらでもOK ★参加費2500円
お問い合わせ・ご予約は kano.otonoya@gmail.com

1~3時間迄¥3,000、1日レンタル¥5,000 (9:00~21:00まで)

音楽演奏会、写真や絵画を展示したい、手作り雑貨を販売したい、など各種教室に井田小学校正門前

idacafe

コミュニティカフェ イダカフェ 中原区井田中ノ町33-9

音楽好きな友の会 Music Enjoy Club

音楽が好きなら、一緒に楽しみませんか? ボランティアスタッフ募集中!

レコードコンサートやライブイベント等、地元「元住吉」周辺での企画や運営を一緒に楽しみませんか?年齢・性別・国籍問わず。ただし、あくまでもボランティア精神で、いっしょに「川崎・音楽のまち」を楽しみながら推進しましょう!

入会のお申込み、問い合わせは ontomo.jp 検索 090-9398-2889 (担当: 塚田)

川崎市国際交流センター

日本アイルランド 外交関係樹立60周年記念 特別公演「魅惑の音楽紀行」
【アイリッシュハープとイリアンパイプスが奏でるアイルランド伝統音楽】
10月14日(土) 14:00開演(13:30開場)~16:00終演(予定)
川崎市国際交流センター・ホール
前売り: 一般2,050円 / こども(小、中、高校生券) 1,540円
当日券: (残席がある場合のみ販売) 510円増となります。
*未就学児童はご遠慮ください。*お申し込みは先着順となります。

世界的にも珍しい金属弦「アイリッシュハープ」奏者の寺本圭佑氏が奏でる優しく美しい音色と京都から招聘するアイルランドのバグパイプ「イリアンパイプス」奏者の 松阪健氏のあたたかい音色が奏でるアイルランド伝統音楽をお届けします。さらに、「アイリッシュダンス」の名手、小西高之氏と寺本靖子氏ら総勢4名のダンサーによる力強くてかろやかなダンスも加わり、アイルランドをまるごと体感できる贅沢な コンサートです。

出演:
寺本 圭佑(アイリッシュハープ)
松阪 健(イリアンパイプス)
小西 高之(アイリッシュダンス)
寺町靖子(アイリッシュダンス)
他2名のダンサー

川崎市生涯学習プラザ

第59回
ランチタイムロビーコンサート
10月17日(火) 川崎市生涯学習プラザ 3F 多目的ホール
12:00開場 / 12:10開演 / 12:40終了予定 / 料金: 無料

【出演】
中川裕佳子(ピアノ/歌)

【プロフィール】
五歳よりピアノを始め、国立音 上田亜津子、菊池大成、長尾洋楽大学附属音楽高等学校、国 史に師事。卒業後は演奏活動を立音楽大学卒業。大学の時から積極的にしながらピアノ講師も声楽の勉強も始める。ピアノを 動める。

お問い合わせ (公財)川崎市生涯学習財団 総務室企画情報係 ロビーコンサート担当 TEL 044-733-5811 E-mail: concert@kpal.or.jp 川崎市中区今井南町28-41

【曲目(予定)】
子犬のワルツ(ショパン)
乙女の祈り(パダジェフスカ)
愛の夢(リスト)
あなた(小阪明子)
ひとりぼっちの晩餐会
美女と野獣
トロイメライ(シューマン)

idacafe やさしいヨガ教室

わたみの朝&夜ヨガ

お仕事頑張るサラリーマンやOLさん、子育て頑張るママさんなど日頃忙しかつて自分へのご褒美にココロもカラダもリラックスする「自分時間」をつくりましょう。

お問い合わせ・ご予約は http://peopleyoga.weebly.com

◆朝ヨガクラス 第1、第3土曜日 7:30~8:30 1,500yen
◆メディテーションクラス 第1、第3土曜日 8:35~9:00 朝ヨガクラスから参加の方無料 メディテーションクラスのみの方 500yen
◆夜ヨガクラス 毎週水曜日 20:00-21:15 1,500yen

初回 1,000yen (マット込み)

モトスミ Jazz Night

詳しくは モトスミ Jazz Night 委員会 Mail: motosumijazznight@gmail.com TEL 050-5275-5740

フォレストコーヒー

イダナカ商店街店&サライ通り店

中原区井田中ノ町33-1リエール住吉1F
TEL:044-754-1156 Open:9:00~20:00 (休:水曜日)

ゆうき亭

プレーメン通り商店街、鉄板焼き

中原区木月1-28-16 TEL:044-434-6999
ランチタイム: 11:30~15:00 ディナータイム: 17:00~22:30 (LO 22:00) (休:火曜日)

夏が来れば思い出す、はるかな尾瀬、遠い空

童謡「夏の思い出」が似合う季節も終わりとなりました。今年の夏は本当に暑くて、尾瀬に旅にでも行きたいなあと思っていたらあつという間に夏が終わりを迎えてしまいました!

さて、なぜ今回はこの歌詞の一節を引用したかと言いますと、あるジャズメンの曲と「夏の思い出」が非常に似ていることに気がついたので!Sonny Rollinsのアルバム「Easy Living」の中の「Hear what I'm saying」という曲です(写真①)。このころのRollinsの作風は、フュージョン全盛期ということも相まって、エレクトリック楽器を多用して、とても明るくてノリの良い曲が多く収録されています。(他にもStevie Wonderの「Isn't she lovely」なんか演奏されています。)なので曲調は似ても似つかないところはありますが、メロディーが「夏の思い出」を彷彿とさせる感じで、夏の夕暮れの哀愁漂う雰囲気を感じることが出来ます。果たしてRollinsはこの日本の童謡から着想を得て、「Hear what I'm saying」を作ったのか、ということなどを考えると少しワクワクしてしまいます。(ちなみにライナーノーツ



▲①Easy Living/Sonny Rollins

にはそのようなことは触れられていないので、このアイデアは私の完全なる勝手な解釈であります(笑)

私にとって夏とジャズといえば二つの思い出があり、一つ目は大学の近くの公園の夏祭りでの演奏と、もう一つはサークルの合宿(すごく大変な思い出が数々あるのですが今回は書き切れるかわかりませんが…)であります。夏祭りでの演奏というのは、長きに渡り毎年学校の裏山を挟んだ町内会の公園での演奏で、他にはカラオケ大会や、地域の高校生がバンド演奏(私が在学最後の年には、ガールズバンドを結成して一生懸命に演奏していた姿が非常に印象的でした。)したりするステージで私たちのジャズ研究会も演奏させていただく機会をいただいていた。毎年、コンボジャズ、ピクニック

ド、洋楽ハードロック(!?)というような感じで3組くらいに分かれて演奏していました。特に毎年目玉となったのは洋楽ハードロックバンドで、このバンドは主催の方がなんでも昔ハードロックをやっていた、非常に好きだから聞きたい、という要望から始まったバンドでした。思えば私自身このバンドを始めたことによって、様々なジャンルに飛び込んでいくきっかけになったかなと思いました。よく演奏した曲はNirvanaやKing Crimsonなどの曲で、特に一番白熱したのはアルバム「クリムゾンキングの宮殿」の「21st Century Schizoid man」というKing Crimsonの名曲を演奏した時です(写真②)。元々の音源も13分と長尺な曲ではありますが、全員のソロが盛り上がり過ぎたり曲のテーマを何度もやったり、数々のハプニングの末、演奏時間がなんと20分オーバーということが起きました…!(これは私が在学中、最長の演奏でした。)暑さも忘れて一心不乱に演奏した後の拍手喝采は、非常に心地よく感じたことを記憶しています、そのあとの一杯も格段に美味しかったことも覚えてます(笑)



▲②クリムゾンキングの宮殿

音楽を通して気さくに語り合える集いです。

音友レコード倶楽部

ONTOMO Music Record Club

【お知らせ】月二回行われています「ジャズカフェ」の名称が「音友レコード倶楽部」に変わりました。

10月1日(日) / 10月15日(日) 午後1:30~午後4:30

イダナカ商店街 / 井田小学校正門前 イダカフェ 参加費¥500 / 飲み物¥500円(クッキー付き)

ポップス〜ジャズのこの日は全体的にジャズ物が多かった。

最初に鑑賞したのはナット・キング・コールの弟、フレディ・コールの「メリーゴーラウンド」①より「スモーキング・ゲット・イン・ユア・アイズ」。たまたま兄のナット・キング・コールの「ラヴ」のCDを持って来た方から、その場で両者聞き比べを行うハプニングもありました。兄弟なのでやはり声は似ていましたが、軍配は兄のナット・キング・コールに上がった様です。続けてウディ・ハーマン・オーケストラにいたグレッグ・フィッシュマン(Ts)の「グレッグ・フィッシュマンwitディ・ヒ

ギンズ/インディアン・サマー」②より「インディアンサマー」、ジミー・スミス(Org)「ルートダウン」③より「フォア・エブリワン・アンダー・ザ・サン」、その他スタン・ゲッツ(Ts)、レニー・ニー・ハウス(As)などを鑑賞。また女性の参加者の方からは、車のCMに使用されている「チャーリーとチョコレート工場」④サウンドトラックより「Wonka's welcome song」、懐かしのポップスではブレッド(ソフト・ロックバンド)の代表曲で名曲の「イフ」、「ギター・マン」等も鑑賞しました。

また、日本の「五大ドラマー/夢の競演」⑤のアルバムから、猪俣猛、田畑貞一、石川晶、ジョージ山口、ジョージ大塚の各演奏を鑑賞しました。最後にブレッド(ソフト・ロックバンド)の「ギター・マン」に対抗して猪俣猛の「ドラマー・マン」という曲を鑑賞しました。来月はもっとポップス寄りの曲が多くなる事を期待している私でした。

(フレドリック・ジョーンズ記)



①Merry-Go-Round/Freddy Cole ②Indian Summer/Greg Fishman ③Root Down/Jimmy Smith ④Charlie and the Chocolate Factory ⑤五大ドラマー夢の競演

Tp・作・編曲者「ニール・ヘフティの偉業を讃えたい」

持ち寄りタイムは計5名の方の参加がありました。ピアノトリオのCDが3枚続いた後、7月31日に亡くなった仏の女優ジャンヌ・モローを偲んで私が持参した「死刑台のエレベーター」(1958年映画)のサントラ盤①を流してもらいました。マイルス・デイビスの即興演奏が素晴らしいですね。持ち寄りタイムの最後は重鎮スタッフが持参された10インチ盤2枚でした。1枚目はチャールズ・ミンガスの自主レーベルで四人のトロンボーン奏者がフィーチャーされた「トロンボーン・レポート」②という貴重なアルバムでした。口直しにと針をおとされたポピー・ハケットの初めて聞くホルネットの柔らかな音色に、ほっこりとした気持ちになりました。これからも良質のアルバムのご紹介をお待ちしています。DJタイムの前半はタイトル「素敵なギタリスト達」のごとく9人の演奏家が登場しました。誕生年順では、'1911 フレディ・グリーン、'21 ハーブ・エリス、'23 タル・ファーロウ、バーニー・ケッセル、ウエス・モンゴメリーの3人、'31 ケニー・バレル、'35 グラント・グリーン、'43 ラリー・コリエル、'51 スティーブ・カーンとそうそうたる顔ぶれです。ただプログラムに巨匠ジム・ホールの名が無かったのが少し残念でした。

プログラム冒頭のタル・ファーロの名盤③はDJのお父様がもっておられたと聞き、何と素敵な話なんだろうと思いました。次のコンテンポラリー・レーベルのポール・ウィナーズ2作目の紹介曲「ボラーレ」は、気持ちよくスウィングでき私にとりこのコーナー一番の曲でした。最後は大御所ウエスの決定的ライブ・アルバムといわれている「ソリチュード」④の登場でした。後に「ライヴ・イン・パリ」の録音がプラスされコンプリート盤として発売された音源と共にいずれも廃盤となっているとの解説でしたが、廃盤が毎回さげなく拜聴できるこの音友レコード倶楽部の凄さに改めて感動です。DJタイムの後半は「ニール・ヘフティの足跡を尋ねて」でした。DJがバンドで演奏していた時代の名曲「リル・ダーリン」の譜割りの休符演奏の難しさが忘れられず、彼の生涯を研究してみた説明がありました。正直なところニール・ヘフティの名前も知りませんでした。配布資料やDJの解説から私の愛聴盤であるクリフォード・ブラウンのストリングス盤のアレンジャーでもあると知りました。またフランク・シナトラとベイシー楽団の推奨アルバムも教えていただき、何ともハッピーな気持ちになりました。ベイシー楽団を

語る上で重要なアレンジャーであることを改めて認識できました。次にこのニール・ヘフティのトロンボーン奏者によるリーダー作品「ライト・アンド・ライト」⑤が紹介されましたが、クレジットが不明とはいえギタリストのジョージ・ベンソンの初録音のようで、収集マニアの間ではオークションに出ると即高値がつくアルバムだそうです。そして最後に「アトミック・ベイシー」⑥のアルバムから、冒頭に記した「リル・ダーリン」が店内に響きわたりました。私も馴染みの曲でこのゆったりとしたテンポにととても癒されましたが、ジャケットデザインには正直「うーん?」と首を傾けたくなります。終戦記念日から数日経っていたりしないこともあり、複雑な感情を抱いたのは日本人だからでしょう。ともかくにも、ニール・ヘフティという人物の偉大さが理解でき、その音楽の素晴らしさをたっぷり堪能できた1時間でした。DJの企画力に脱帽するばかりです。(参加者 K.T.)



①Ascenseur pour l'échafaud/Miles Davis



②Trombone Raport/Four Trombones ③Swinging Guitar of Tal Farlow/Tal Farlow ④Solitude/Wes Montgomery ⑤Light And Right!/Neal Hefti Quintet ⑥BASIE (ATOMIC BASIE)/Count Basie

ニューヨークと新宿!

2つの街で観たライブは、その臨場感を今でもそのまま思い出せます!

もしも貴方が1961年6月25日の夜、ニューヨークのジャズクラブ「ビレッジバンガード」に居たと想像したら、どうします?興奮しますよね!そうです、ビル・エバンスの名盤「WALTZ FOR DEBBY」がライブ録音された日です。あのアルバムの中と同じ空間で、ビル・エバンスやスコット・ラファロと同じ空気を吸っていたらしたら…もしかしたら自分の声やグラスの音が録音に入っているかもしれない。そんな事を想像しただけでもウキウキしますよね。

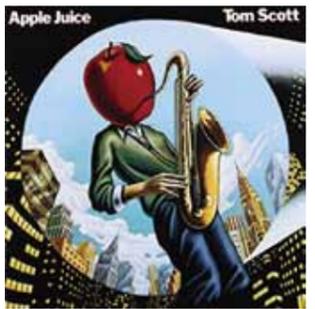


▲Vanguard

実はそんな経験をしたことがあるんです。もちろんそれ程名盤ってわけでは無いのですが、やっぱり自分にとっては特別なアルバムとして今でも大切な存在です。今日はそんなアルバムを2枚紹介します。随分自分勝手なチョイスですけど、ちょっとお付き合いください。

1980年から1981年、私はわけあってマンハッタンに友人のアパートに転がり込み、毎晩のようにライブに行ったり映画を観たりディスコ(古い!)に行ったりして放蕩を繰り返していました。当時はグリニッジヴィレッジに有名なジャズクラブがいくつもあり、「ヴィレッジ・ゲイト」、まだ小さなクラブだった「ブルーノート」、そして今回紹介するライブの舞台になった「ボトムライン」などです。時は1981年1月15日、私は「ボトムライ

ン」でトム・スコットのライブを観ました。そのライブがそのままライブ盤として発売されたのが、「APPLE JUICE」(写真①)です。トム・スコットと言えばロバート・デ・ニーロ主演の「タクシードライバー」のテーマで有名ですね。ここではエリック・ゲイル(g)、リチャード・ティー(key)など、当時全盛だったフュージョン界のトップミュージシャン達と熱い演奏を繰り広げています。1曲目「アップル・ジュース」はタイトで引き締まった演奏なのに、こそこそと言う時のグルーブ感が凄い。私のお勧めは3曲目「ウィ・ピロング・トゥゲザー」のレイドバックしたサウンドに気持ちの良いサクソフが印象的な曲と6曲目「イン・マイ・ドリーム」のリリコン(ソプラノサクソフのような型をしたシンセサイザー)のソフトでスイートなバラードです。どちらの曲もリチャード・ティーのフェンダー・ローズがキラキラと光を散りばめたように感動しますよ。また、4曲目「ソー・ホワイト・アンド・ソー・ファンキー」はゲストのDr.ジョンに合わせて全員でコーラスをする所があるのですが、ちゃんと私の声も入っているはずですよ。(笑)1981年と言うフュージョン全盛時代をスパッと切り取ったようなトム・スコットと一流ミュージシャン達の名盤です。4ビートとは違った疾走感やグルーブ感を味わえることでしょ。



▲①Apple Juice/Tom Scott

さて、次と同じく1981年。時は10月4日、私は新宿西口広場でただならぬ緊張感の中、ある大物の登場を今か今かと待っていました。新宿西口広場と言っても今の人は



ピンとこないでしょうね。今は高層ビルが建ち並んでいますが、その当時は都会の真ん中にどーんと広場があったんですね。今思えば不思議な場所でした。そのミュージシャンとは…マイルス・デイビスです。その時の演奏は「WE WANT MILES」(写真②)と言う黄色いジャケットのアルバムに収録されました。収録されたのは残念ながら1曲だけ。1曲目の「JEAN-PIERRE」です。

この時の演奏について説明するのはとても難しいです。あのマイルス・デイビスが目の前で動いている。トランペットを吹いている。と言う事実に興奮してしまい、うまく気持ちが馴染めないままに終わってしまいました。一体その演奏が素晴らしいものだったのか、凡庸なものだったのか?歴史的な一瞬を目の前にしていたのか、そんな事は無かったのか?その判断は私には出来ません。もっともジャズをしっかりと聴いている方々にその判断をお任せしようと思います。マイルスの鋭いトランペットの響きとマイク・スターンの刺さるようなギターが耳に残っています。確かグラミー賞を受賞しているので名盤と言っても良いのでは。

今回ご紹介したライブ盤は奇しくも1981年の春と秋の物でした。そんな経験は2回しか無いのに同じ年だったって不思議ですね。では、また来月!



▲②WE WANT MILES

私の原点、ふるさと。



こんにちは。アコースティックユニットくじら座のピアノコーラス担当牧野くみです。先日くじら座としては初めて北海道で演奏させて頂きました。私は北海道知床出身で現在は東京都内に在住しています。大学進学を機に上京してきました。今でこそ人前でピアノを弾いたり歌を歌ったり、周りの方に恵まれ様々なご縁があり昨年は舞台にも挑戦させて頂きましたが、小さい頃の自分はステージへの憧れこそあったものの人見知りだし友達も少な

いし、当時の自分が今の私を見たらびっくりするんじゃないかと思えます。吹奏楽部でコントラバスを担当していたこと、ピアノとエレキトーンを習わせてもらっていたので音楽に日常的に触れてはいたものの、とてもじゃないけど「表現」という域には達していませんでした。楽しいと感じていなかったのは音楽活動だけでなく実は日々の生活もそうでした。そんな思いがあったため、上京して作詞作曲をし、自分でライブハウスにアポを取って出演の交渉をして事務所のオーディションを受けたり、そのような主体的な音楽活動を始めてからしばらく経っても地元の人には活動をあまり知られなかったんです。昔の自分と比べられちゃうんじゃないかって怖かったんですよ。だから昔のことは忘れないという捨てたいという。実家にすら何年も帰らなかった時期もありました。音楽活動を通して色々な場所へ行かせて頂き色々な方に出会ったおかげで、色々な価値観に出会えました。自分では目を背けたい経験も含めて自分のアイデンティティであり制作の原点であり、そもそものことも



悪いことも変えられない事実だから受け入れて様々な想いと共存して前向きに生きればいいのか、って最近では思っています。否定する必要もなければ無理やり理解する必要もない。ただ地元北海道で演奏させて頂ける場所があり私の活動を受け入れてくれる方がいること。すごく嬉しかったです。



金曜日の夜は、元住吉、井田小学校正門前のジャズ喫茶で!!

音響装置はKT-88/6L6の真空管アンプで、暖かな音色がより疲れを癒します。天井が高く、残響もとても心地よい空間です。その特性を生かし大きな音で聴くのではなく、ホールで聴くライブ感覚をこのカフェは醸し出しています。週末のこともあり、店の名前は「Cool Down j.」。一週間の疲れを安らげる無理のないサウンドで、心を癒して帰途についていただきたい。おいしいコーヒーとお酒。おつまみをご用意しています。

Cool Down j.の音響装置
★アンプ: CAV T-88a、6L6自作、ONKYO A-913
★スピーカーシステム: タンノイ・パークレー、ティアック。
★プレーヤー: コスモ78回転仕様。
★CDプレーヤー: パイオニア。

★ **ida cafe Friday Night** ★

Cool Down-J.

毎週金曜日 17:00-23:00 L.O.22:30

元住吉駅西口下車、プレーメン通りを抜け徒歩12分。井田小学校正門前

▲CAV T-88a